

■ ツツガムシ病研究に貢献こうけん

# 寺邑 政徳

てらむら せいとく

出身地 大仙市（旧大曲市）

1886年（明治19年）～1962年（昭和37年）

家業を継いでツツガムシ病研究に献身けんしん。病原体の発見者おがたのり お、緒方規雄と共同研究を続ける。血清反応けっせいや血沈けっによる診断法しんだんほうを導入、高い評価を受けた。



## 年譜

- 1886年 大仙市おおまがり（旧大曲市）に生まれる。
- 1913年 京都府立医学専門学校せんもんを卒業。  
東京私立順天堂病院じゅんてんどう きんむに勤務。
- 1916年 帰郷。父祖の業を継ぎ医院を開業。  
ツツガムシ病の研究者、田中敬助けいすけについて学ぶ。
- 1925年 田中敬助しょうかいの紹介で千葉医科大学教授緒方規雄おがたのり おと  
出会い、以後その研究に協力する。
- 1933年 自宅に私設恙蟲病研究所じたく ツツガムシを設置。
- 1938年 医学博士となる。
- 1962年 大仙市おおまがり（旧大曲市）で没ほつ。76歳さい。